

～ 5、6年生の選択造形の様子を覗かせて頂きました ～

陶芸 西村百合先生

今年で10年目。陶芸の専門学校を卒業後、3年間スペインの陶芸学校に留学。



この日は、時計を製作。生徒がこねて作った作品を鎌倉のご自宅まで持ち帰り、窯で焼いて来て下さいます。

「生徒さんの大切な作品が途中で壊れたりしないかとドキドキするんですよ！今年の6年生は、2年間陶芸を選択してくれた生徒さんが多くて、自分たちでどんどん作業を進めてくれるんですよ！」とお話して下さいました。



選択造形

児童造形展間近に迫る
追い込み作業中の授業風景

素晴らしい先生方との出会い。
好きなことに打ち込む子どもたちの眼差し...。
そこには「これぞ平和！」というとても贅沢な時間が流れていましたー

日本画 小林智奈先生

今年で15年目ー玉川大学出身。
日本水彩画会に所属。

この日は、心と心のつながりをテーマに絵手紙を製作。ゆったりと流れる静かな時間の中で、流れに逆らわない生徒たちの作業風景。
「平和の生徒さんは大人と関わる時間が多いためか、大人と対等に話せるお子さんが多いですね！」とお話して下さいました。



先生の絵が連続入選！
現在、東京都美術館に展示中です！

立体造形 五十嵐恵子先生

今年で7年目ー武蔵野美大出身。
学生時代には日本画も！



この日は木製のパズルを製作していました。クネクネとした難しいパズルのピースを特別な機械を使って一人ひとり真剣に楽しそうに作る子ども達。「平和の生徒さんは皆、発想が豊かで、時間ぎりぎりまで粘り強く作業してくれるんですよ！」とお話して下さいました。



木版画 佐藤北久山先生

今年で15年目。
お父様の代から親子3代の芸術家。



仙人のような風貌で一見厳しそうですが、子どもを見る目も版画の作品も優しく柔らかい。子ども達は、そんな北久山先生の優しさに惹かれて自然に集まってきます。

授業での木版画は人物画でした。4枚の板を彫刻刀で彫り、それぞれ色付けをして刷ります。最後にパソコンで作品に合った背景をつけ完成。「子どもの作品を見るとその子の心の状態がわかる。この子はいいものを持っている！！」と褒めて下さいます。北久山先生との出会いをきっかけに版画家の道を志している卒業生もいます。



佐藤北久山作
しだれ桜
(入生田の長興山)